

赤江 公民館だより

今月のトピックス

今年度の「御田植祭」を振り返り、赤江八幡宮 総代会の瀬尾敏三会長より寄稿いただきました。

古伝祭に思いを

私たちの先祖は、古くから伝承や歴史を踏まえ、豊かに暮らす知恵を共同体の営みの中に生かし、神々と共に生活してきました。この度、令和7年度の御田植祭を5月5日(月)に行うことができました。今年度は下坂田町(下坂田・新坂田・庄司原)氏子の皆様方により神事が奉納されました。この祭は、現存する古文書では1344年(南北朝時代)、今から681年前に神事が始まっていることとなります。この御田植え神事の目的は、五穀豊穰と健康で安全な生活ができるように祈願することです。

この度の祭には、山陰中央新報社、安来どじょこテレビ両社の報道機関からご協力をいただきました。今年度は、責任役員、町内総代役員、敬婦役員、各皆様方と「力」を合わせて手作りのイベントを行い、その結果、境内は大勢の参拝者の皆さまで賑わいました。この古伝祭を今後、沢山の皆さまにもっともっと知っていただくようピーアール(告知)してまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻頂きますようお願い申し上げます。

最後になりますが、伝統を継承しつつ皆様方のご多幸をお祈り申し上げ、微力ながら役員一同力を合わせて任務にあたっておりますので、今後とも格別なご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

赤江地区民 みんなの合言葉

- 気持ちのよい あいさつを交わしましょう
- ごみを拾って きれいな町にしましょう
- 青少年の非行を防ぎましょう

赤江交流センター発行 TEL・FAX(0854)28-8982
メールアドレス akae.cs@city.yasugi.shimane.jp

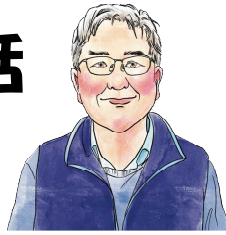
No.169 令和7年5月号



「御田植祭」の様子

赤江八幡宮 総代会
会長 瀬尾敏三

館長のよもやま話



5月スタート

5月となりました。我が家にとって、この時期が最も忙しい時期でもあります。朝、5時ごろ起きて、朝ご飯を食べ土曜日以外は苺の収穫作業をしているところです。5月3日(土)には、我が家の稲の種まきに併せて、めだかクラブの活動のひとつ「稲作体験」のための種まきも行いました。そのやり方の詳細は長くなるので省きたいと思いますが、一年生でも植えやすく、昨年からこの方法を採用しています。

新聞の記事を思い出しました。昨年度来、米の値段が急激に高くなったと今でも、マスコミで取り上げられています。私が農業を始めたころも30Kg、10,000円のころがありました。これは、国が米を買い上げ、消費者には、安く供給するシステムであったと記憶しています。そんな時、ある新聞記事に、コメの生産は、大規模稲作農家と我が家のように細々とした稲作農家や兼業農家が半々とのこと。ひがみ半分ですが、零細農家を無視した結果だと私は思っています。今は、それが自由に販売が可能となり、結果的に、コメ不足となったようです。

とても長い前文でした。

小学校卒業式と入学式

4月の公民館だよりで掲載を忘れていた、赤江小学校の卒業式と入学式の写真を紹介します。私の小学生だったころを思い出すと、落ち着きがなく、あまり勉強にも身もが入らなかった私の様な者をよく見てもらえたな、と思います。

さて、5月から始まる『めだかクラブ』では、私が良くないと思った時は、その対象の子どもを本気で叱るようにしています。このことは、赤江小学校のPTA総会の時にも、保護者の皆さんにはお話ししました。今年もこれは実行しようと考えています。5月19日(月)の開講式では、レクリエーションを予定しています。その時にも、子どもたちに、私の方針を伝えたいと思っています。



「赤江小学校卒業式」の様子



「赤江小学校入学式」の様子

赤江小学校運営協議会

4月24日(木)に赤江小学校で、学校運営協議会(会長は、遠藤孝赤江教育後援会長)の席で、『家庭・地域で挨拶運動を始めよう』という意見が上がりました。時々子どもたちが「挨拶しない」との話を聞きますが、それでは地域の大人たちは挨拶が出来ているのだろうか、との話になりました。そう言えば、私も、地元自治会の若い奥さんやその子どもたちの顔が分からないことに気づきました。老婆心でしょうか、平常時ならともかく、何かの非常時には多分対応することはできないような状況になりつつあるのではと思いました。大人の私たちも、身近なところから挨拶を心掛けたいものです。

合同総会

4月27日(日)、『合同総会』を赤江交流センターで開催しました。各自治会長の皆さんに集まっていただき、昨年度の事業報告・決算報告及び今年度の事業計画や予算審議をしていただき、承認され今年の活動が始まりました。具体的なことは、7月に全戸配付する『公民館だより』でお伝えします。最後に、自由参加で懇親会を行いました。最近、地域での『飲みニケーション』の機会が少なくなったと聞いています。こうした顔合わせをすることも大切だと思っています。

エビネ展

4月29日(祝日・火)に、園芸クラブの皆さんによる『エビネ展』が行われました。実をいうとその3日前の26日(土)、園芸クラブの方と、益田で開催されている「エビネ展」を見に行きました。その会長さんが私の知り合いということもあり、お会いしたという思いから出かけてみました。私の記憶では、エビネ栽培が盛んな頃は、珍しいものは何万円もの高値で取引されたようです。私も、とても奥の深いものと思っています。先日、私の係り付け医の森脇での話です。森脇先生には、毎年、エビネ展にお出かけいただいています。ご自身もエビネを栽培されているようですが、「昨年の夏、暑くて随分病気にやられたようです。」と話すと、奥様が夏に冷房するのは不経済とのことで、「高価なエビネを随分枯らした。電気代以上の損失だった。」と愚痴?を言われました。そんな話で少し長くなり、次の診察される方にご迷惑をかけたような気がしています。

今、このクラブも3人の方で、頑張って活動されています。関心のある方、是非、交流センターまでお問い合わせ下さい。



「エビネ展」の様子

『里山ハイキング』の下見

5月14日(水)、6月に予定しています毎年恒例の『里山ハイキング』の候補地、松江の『嵩山』と『和久羅山』の下見に出かけました。私のあやふやな記憶ですが、広瀬から松江に城を移す時に嵩山もその候補に上がったけれど、もはや山城の時代ではなくなったことから今の場所になっ



「嵩山山頂からの風景」

たと聞いたように思います。山頂からは、中海が一望される風景でした。

もう一つの『和久羅山』は、中海側と松江市も一望される場所でした。今回は、小石があるのが多少気にはなりますが、少し高く道も広い嵩山(今月回覧のチラシ参照)に決定しました。少雨の場合は、車で上がれる別の山に行くことを考えています。是非、皆さんも参加してほしいと思っています。

附則ですが、今年、なぜか一昨年採ったスイートピーの種を蒔いたところ、今年、ほとんどかピンクの花を付けました。高校の時?の生物の授業にあったメンデルの「優性の法則」が作用してピンク色の花となったのでしょうか。今年、その種を蒔いて、次年度、どんな花を付けるのか、小さな実験をしたいと思っています。そうでした。4月のよもやま話で私の好きな早春の花のことを紹介しましたが、それを読んだ方が、わざわざその植物の実物を交流センターまでお持ちいただき、名前の鑑定を頼まれました。大変うれしく思いました。我が家の苺の収穫も、そろそろ終盤です。

おしらせ

◇コピー、ラミネート加工ができます

交流センターで、コピーやラミネート加工ができます。自治会の資料作り等にお役立てください。希望される方は、交流センターへお気軽にお問い合わせください。(TEL 28-8982)

モノクロコピー 一枚10円(紙持込の場合は一枚5円)

カラーコピー A4一枚40円、A3一枚60円

ラミネート A4一枚50円、A3一枚80円



◇交流センターの電話について

交流センターへ電話を掛けられると、一度コールした後、2、3秒無音になってから事務所内の電話につながります(公衆電話を介しているため)。ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

6月の行事予定

1日(日) ちょこっと喫茶(10:00~12:00)

8日(日) 笹巻づくり体験(詳細は小学校を通じて配布したチラシをご覧ください)

11日(水) 嵩山ハイキング(詳細は5月回覧のチラシをご覧ください)

28日(土) 田部由美子 ピアノと歌のコンサート(詳細は5月回覧のチラシをご覧ください)